

**北薩・伊佐地区埋蔵文化財
分布調査報告書(VIII)**

大口市(一部)・菱刈町

平成 10 年 度

1999 年 3 月

鹿兒島県教育委員会

序 文

鹿児島県教育委員会では北薩・伊佐地区（一部日置地区を含む）の埋蔵文化財分布調査を計画し平成3年度から実施してまいりましたが、本年度をもちまして2市13町4村における調査を終了することになりました。現在、鹿児島県教育委員会では高速道路建設等に伴う発掘調査を継続的に実施しておりますが、今後も発掘調査件数は増加し、さらに大型化する傾向にあります。これらの発掘調査の成果については新聞等に頻繁に報道されておりますが、県民の皆様の文化財に対する興味・関心もますます高まっています。このようななかで、本年度「上野原遺跡」の出土品 767点が国の重要文化財に、集落跡が国の史跡に相次いで指定されたことは誠に喜ばしいことであります。今後も、県教育委員会では時代の要請と埋蔵文化財の保護との調整を図ってまいります。

本報告書は、平成10年度に実施した大口市（一部）と菱刈町における埋蔵文化財分布調査結果で、新たに発見された44遺跡についてまとめたものです。これまでの調査成果同様に埋蔵文化財保護行政の基礎資料とするとともにして諸開発事業との調整等に活用してまいります。市町村教育委員会におかれましては、埋蔵文化財の一層の保存活用が図られるよう遺跡の周知等について、本報告書の積極的活用をお願いいたします。

最後に、北薩・伊佐地区埋蔵文化財分布調査にご協力いただいた関係市町村教育委員会並びに関係者に深く感謝の意を表します。

平成 11 年 3 月

鹿児島県教育委員会
教育長 徳 田 穰

報告書抄録

ふりがな	ほくさつ いさちくまいぞうぶんかざいちょうさほうこくしよ							
書名	北薩・伊佐地区埋蔵文化財調査報告書(Ⅶ)							
副書名								
巻次								
シリーズ名	鹿児島県埋蔵文化財報告書							
シリーズ番号	74							
編著者名	倉元良文							
編集機関	鹿児島県教育委員会							
所在地	〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1							
発行年月日	西暦 1999年3月31日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 (対象)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
下ノ原遺跡 他13遺跡	大口市羽月 下ノ原他	462098	138	31°36'12"	130°34'2"	1998年		北薩・伊佐地区埋蔵文化財分布調査
			?	?	?	4月21日 ～24日		
芝立遺跡 他29遺跡	菱刈町市山 芝立他	464210	104	31°39'24"	130°36'15"	1998年		"
			?	?	?	11月30日 ～ 12月18日		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
下ノ原遺跡 他13遺跡	散布地	縄文～中世	——	土器片 黒曜石剥片 白磁片		表採資料		
芝立遺跡 他29遺跡	散布地	縄文～中世	——	土器片・石器 黒曜石剥片		表採資料		

例 言

1. 本書は、平成10年度に実施した北薩・伊佐地区埋蔵文化財分布調査における「北薩・伊佐地区埋蔵文化財分布調査報告書（Ⅶ）」である。
2. 本年度は大口市の一部と菱刈町を対象とし、田畑などの一筆毎の悉皆調査を基本として、必要に応じて聞き取り調査を実施した。
3. 調査に当たっては、各市町作成の5千分の1及び2万5千分の1の地形図を利用した。
4. 挿図の遺物番号と図版の遺物番号は一致する。
5. 付図中の遺跡地図は、黒刷りが周知の遺跡を、赤刷りが新発見の遺跡のものである。
6. 本書の執筆・編集は、倉元が行った。

目 次

序 文	
報告書抄録	
例 言	
目 次	
第1章 調査の経過	1
第1節 調査に至るまでの経過	1
第2節 調査の組織	1
第3節 調査の経過	2
第2章 調査報告	5
第1節 大口市の調査	5
第2節 菱刈町の調査	15

表 目 次

第1表 過去の分布調査の結果	1
第2表 大口市新発見の遺跡地名表	2
第3表 菱刈町新発見の遺跡地名表 (1)	3
第4表 菱刈町新発見の遺跡地名表 (2)	4
第5表 参考資料～昨年度発見した大口市の遺跡	8

挿 図 目 次

第1図 大口市採集遺物	8
第2図 菱刈町採集遺物 (1)	21
第3図 菱刈町内での採集遺物 (2)	22
付 図 大口市・菱刈町遺跡分布地図	

図 版 目 次

図版 1	大口市新発見の遺跡 (1)	下ノ原A遺跡・下ノ原B・鶴園遺跡・荒瀬遺跡	9
図版 2	大口市新発見の遺跡 (2)	原遺跡・大臨山遺跡・矢盾川遺跡・長迫遺跡	10
図版 3	大口市新発見の遺跡 (3)	中牟田遺跡・高林遺跡・囲畑遺跡・本城遺跡	11
図版 4	大口市新発見の遺跡 (4)	今村遺跡・鍋原遺跡	12
図版 5	大口市採集遺物 (1)		13
図版 6	大口市採集遺物 (2)		14
図版 7	菱刈町新発見の遺跡 (1)	芝立遺跡・岩崎遺跡・中園遺跡・萩畔遺跡	23
図版 8	菱刈町新発見の遺跡 (2)	小山尻遺跡・柳町遺跡・葉師原遺跡・潤脇之前遺跡	24
図版 9	菱刈町新発見の遺跡 (3)	周防原遺跡・曹原遺跡・楳木原遺跡・平原遺跡	25
図版 10	菱刈町新発見の遺跡 (4)	普春庵原遺跡・先白坂遺跡・橋田遺跡・松木田遺跡	26
図版 11	菱刈町新発見の遺跡 (5)	大廣井遺跡・崎山A遺跡・崎山B遺跡・崎山C遺跡	27
図版 12	菱刈町新発見の遺跡 (6)	崎山D遺跡・新川遺跡・堂田遺跡・狩迫遺跡	28
図版 13	菱刈町新発見の遺跡 (7)	早風下遺跡・川原田遺跡・小椎ケ尾遺跡・七代遺跡	29
図版 14	菱刈町新発見の遺跡 (8)	日之丸遺跡・楠原B遺跡	30
図版 15	菱刈町採集遺物 (1)		31
図版 16	菱刈町採集遺物 (2)		32
図版 17	菱刈町採集遺物 (3)		33
図版 18	菱刈町採集遺物 (4)		34

第1章 調査の経過

第1節 調査に至るまでの経過

鹿児島県教育委員会では、北薩・伊佐地区の4市13町4村（串木野市・阿久根市・出水市・大口市・東市来町・市来町・樋脇町・東郷町・鶴田町・宮之城町・薩摩町・祁答院町・里村・上飯村・鹿島村・下飯村・高尾野町・長島町・東町・野田町・菱刈町）について埋蔵文化財分布調査を平成3年度から平成11年度にかけて計画した。これは、北薩・伊佐地区の諸開発事業の施行に際して埋蔵文化財保護行政と開発事業との調整に資することを目的とするものである。

前年度までに北薩・伊佐地区の各市町村で実施した分布調査で新たに発見された遺跡は、合計で448遺跡にのぼる（第1表）。これらは、早速に九州西回り自動車道やこれに伴う諸開発事業や農業農村基盤整備事業等の協議・調整の資料として活用されている。

第1表 過去の分布調査の結果

年 度	対 象 市 町 村	遺 跡 数	実 施 時 期
平成3年度	串木野市・東市来町・市来町	116遺跡	5月7日～6月13日
平成4年度	樋脇町・東郷町・鶴田町	104遺跡	8月3日～9月10日
平成5年度	宮之城町・薩摩町	104遺跡	7月5日～8月12日
平成6年度	飯島各村（里村・上飯村・鹿島村・下飯村） 長島町・祁答院町	37遺跡	7月5日～8月12日
平成7年度	東町・高尾野町	19遺跡	11月28日～12月22日
平成8年度	阿久根市・野田町	15遺跡	11月12日～11月28日
平成9年度	出水市・大口市（一部）	53遺跡	1月6日～1月30日
平成10年度	大口市（一部）・菱刈町	44遺跡	4月21日～4月24日 11月30日～12月18日

調査にあたっては、文化庁全国遺跡分布調査要項(昭和46年4月)に準拠し、埋蔵文化財を中心に原則として田畑一筆毎の悉皆調査を行い、必要に応じてボーリング調査をするなど精密な分布調査を実施するものである。また、結果については分布図・報告書を作成し関係機関に配布する。

平成10年度は、大口市の一部と菱刈町の2市町を対象にして、平成10年4月21日(火)から4月24日(金)と平成10年11月30日(月)から12月18日(金)にかけて分布調査を実施した。

第2節 調査の組織

調査主体者	鹿児島県教育委員会	教 育 長	徳 田 穰
調査責任者	鹿児島県教育庁文化財課	課 長	内 村 正 弘
調査企画担当者	〃	課 長 補 佐	庭 月 野 慎 一
	〃	主任文化財主事 兼埋蔵文化財係長	戸 崎 勝 洋
調査担当者	〃	文化財主事	倉 元 良 文
	〃	文化財主事	堂 込 秀 人

調査にあたっては伊佐教育事務所をはじめ、大口市教育委員会、菱刈町教育委員会の協力を得た。

第3節 調査の経過

平成3年度から平成11年度まで計画された分布調査は、事業の見直しを図り、本年度の大口市（一部）と菱刈町の調査をもって「北薩・伊佐地区埋蔵文化財分布調査」は全て終了することとなった。新発見もしくは範囲を拡大した遺跡数は、前年度までに448遺跡、本年度の44遺跡を加えると492遺跡になった。

本年度の調査は、昨年度に引き続き大口市の一部と菱刈町の全域を調査対象として実施した。採集遺跡等の整理及び報告書作成作業は鹿児島県埋蔵文化財センターで行った。

(1) 大口市の調査

本年度大口市管内で新たに発見された遺跡と範囲を拡大した周知の遺跡は、14遺跡であった。調査日程と調査地区及び新発見地の遺跡地名表は以下のとおりである。

4月 7日 大口市教育委員会と事前打ち合わせ

21日 大口市羽月地区

22日 大口市曾木地区

23日 大口市曾木地区

24日 大口市針持地区

第2表 大口市新発見の遺跡地名表

番号	遺跡名	所在地	地形	時代	遺物等	備考
1	下ノ原A	大口市羽月下ノ原	平地	縄文・平安	黒曜石片・土師器・須恵器	周知遺跡範囲拡大
2	下ノ原B	大口市羽月下ノ原	平地	縄文	縄文土器・黒曜石剥片	
3	鶴園	大口市曾木鶴園・竹下	微高地	古墳	成川式土器	
4	荒瀬	大口市曾木荒瀬	台地	縄文・古墳・奈良平安	黒曜石剥片・成川式土器・土師器	
5	原	大口市曾木原	微高地	縄文・古墳・奈良平安	縄文土器・成川式土器・土師器	周知遺跡範囲拡大
6	大脇山	大口市曾木大脇山・上岡	河岸段丘	縄文・古墳・中世	黒曜石剥片・成川式土器・白磁	周知遺跡範囲拡大
7	矢橋川	大口市曾木矢橋川	平地	縄文・古墳	黒曜石剥片・成川式土器	
8	長迫	大口市曾木長迫	平地	縄文	縄文土器・黒曜石	
9	中牟田	大口市曾木中牟田	台地	縄文・古墳	黒曜石片・成川式土器	
10	高林	大口市羽月高林	台地	縄文	黒曜石剥片	
11	囲畑	大口市羽月囲畑	台地	縄文	縄文土器	
12	本城	大口市曾木本城	台地	古墳・奈良平安	成川式土器・土師器	
13	今村	大口市針持今村	台地	縄文・奈良平安	黒曜石剥片・土師器・須恵器	
14	鍋原	大口市針持鍋原	台地	縄文・中世	縄文土器・黒曜石片・白磁	周知遺跡範囲拡大

(2) 菱刈町の調査

本年度菱刈町管内で新たに発見された遺跡及び範囲を拡大した周知の遺跡は、34遺跡であった。調査日程と調査地区及び新発見地の遺跡地名表は以下のとおりである。

11月25日	菱刈町教育委員会と事前打ち合わせ
30日	菱刈町重留地区
12月1日	菱刈町徳辺地区
2日	菱刈町徳辺・市山地区
3日	菱刈町田中・前目地区
4日	菱刈町徳辺・前目地区
7日	菱刈町南浦地区
8日	菱刈町南浦地区
9日	菱刈町川南・花北・下手地区
10日	菱刈町下手地区
11日	菱刈町市山地区
16日	菱刈町田中地区
17日	菱刈町市山地区
18日	各遺跡遺景写真撮影

第3表 菱刈町新発見の遺跡地名表

番号	遺跡名	所在地	地形	時代	遺物等	備考
1	芝立	菱刈町市山芝立	台地	縄文	縄文土器・黒曜石	
2	岩崎	菱刈町市山岩崎	台地	縄文	縄文土器・石斧・黒曜石剥片	
3	中園	菱刈町山中園	微高地	奈良平安	土師器片	
4	荻畔	菱刈町田中荻畔	微高地	縄文・奈良平安	黒曜石片・土師器・須恵器	周知遺跡範囲拡大
5	小山尻	菱刈町田中小山尻	微高地	古墳・奈良平安	成川式土器・土師器・須恵器	
6	柳町	菱刈町田中柳町	台地	縄文・古墳	黒曜石片・成川式土器	周知遺跡範囲拡大
7	薬師原	菱刈町重留薬師原	微高地	奈良平安	土師器・須恵器	
8	淵脇之前	菱刈町花北淵脇之前	微高地	縄文	黒曜石剥片	
9	周防原	菱刈町重留周防原	台地	縄文・奈良平安	縄文土器・土師器	
10	曹原	菱刈町下手曹原	微高地	縄文・古墳・奈良平安	黒曜石剥片・成川式土器・土師器	
11	橋木原	菱刈町前目橋木原	台地	縄文・古墳	黒曜石剥片・成川式土器	
12	平原	菱刈町前目平原	台地	縄文・奈良平安	縄文土器・土師器	
13	普春庵原	菱刈町前目普春庵原	台地	古墳・奈良	平安成川式土器・土師器	
14	先白坂	菱刈町前目先白坂	台地	古墳・奈良平安	成川式土器・土師器	
15	橋田	菱刈町徳辺橋田	台地	古墳・奈良平安	成川式土器・土師器	周知遺跡範囲拡大
16	松木田	菱刈町徳辺松木田	微高地	縄文・奈良平安	縄文土器・土師器	
17	大廣井	菱刈町徳辺大廣井	台地	縄文	縄文土器	
18	崎山A	菱刈町徳辺崎山	台地	縄文	黒曜石片	

第4表 菱刈町新発見の遺跡地名表(2)

番号	遺跡名	所在地	地形	時代	遺物等	備考
19	崎山B	菱刈町徳辺崎山	台地	縄文	縄文土器	
20	崎山C	菱刈町徳辺崎山	台地	縄文	縄文土器・石畿	
21	崎山D	菱刈町徳辺崎山	台地	縄文	黒曜石剥片	
22	新川	菱刈町徳辺新川	台地	縄文	縄文土器・黒曜石剥片	
23	堂田	菱刈町徳辺堂田	台地	縄文	縄文土器・黒曜石片	
24	狩迫	菱刈町徳辺狩迫	台地	縄文	縄文土器・石畿	
25	早風下	菱刈町荒田早風下	低地	奈良平安	土師器	
26	川原田	菱刈町川南川原田	微高地	古墳・奈良平安	成川式土器・土師器	
27	小椎ヶ尾	菱刈町南浦小椎ヶ尾	台地	縄文・古墳・奈良平安	縄文土器・成川式土器・土師器	
28	七代	菱刈町南浦七代	台地	縄文・古墳	縄文土器・黒曜石剥片・成川式土器	
29	日之丸	菱刈町南浦日之丸	台地	縄文・古墳	縄文土器・成川式土器	周知遺跡範囲拡大
30	楠原B	菱刈町南浦楠原	台地	縄文	縄文土器	

第2章 調査報告

第1節 大口市の調査

大口市は県の北端部で、周囲を九州山系の山々に囲まれた大口盆地のほぼ中央部に位置する。盆地の北部、西部、東部は山地に囲まれ、中央部での標高は約180m、わずかに南側の一部が開ける地形である。盆地南部は川内川が東から西に流れ、これに注ぐ中小河川でシラス台地が侵食され、河岸段丘が幾重にも発達し、河川の流域には広大な沖積地が形成される。東は宮崎県えびの市・伊佐郡菱刈町、西は出水市・薩摩郡鶴田町、南は薩摩郡薩摩町に接し、東西23km・南北25kmを測る。

大口には現在約130か所の遺跡が確認されており、河岸段丘のシラス台地に縄文時代を中心に遺跡が立地する。旧石器時代では黒曜石の原産地にあたる日東遺跡や石器製作跡といわれる五女木遺跡等がある。縄文時代では、標式遺跡として知られる手向山遺跡、日勝山遺跡、並木遺跡等の著名な遺跡が所在する。弥生時代については、遺跡は少なく実態は不明である。古墳時代は、瀬ノ上遺跡・平田遺跡等で南九州独自の地下式板石積石室・地下式横穴等が数多く確認されている。歴史時代の遺跡としては平成6年に調査を実施し村落跡が発見された新平田遺跡や馬場A遺跡、平泉城跡をはじめとする中世山城21か所が知られている。

「北薩・伊佐地区埋蔵文化財分布調査」における大口市の調査は、前年度に引き続き実施した。前年度は山野・平出水・白木・羽月・宮人・牛尾・大田・青木の各地区を調査した結果、15の遺跡を発見した。本年度は羽月地区の未調査部分と曾木地区・針持地区の分布調査を重点的に行なった結果、14の遺跡を発見した。

本年度の調査で新たに発見した遺跡及び範囲の広がった遺跡の概要は、次のとおりである。

1 下ノ原A遺跡

大口市羽月下ノ原に所在する。

大口盆地を西に流れる川内川は羽月川と国道268号線の諏訪橋付近で合流し、蛇行する。この蛇行するあたりの右岸に遺跡は立地する。従来ドットで示してあった周知の遺跡を、今回の調査で範囲拡大した。

黒曜石剥片や土師器片・須恵器片を採集したことから、縄文時代及び奈良平安時代の遺跡である。

2 下ノ原B遺跡

大口市羽月下ノ原に所在する。

川内川右岸で下ノ原A遺跡の北側に位置し、川内川に沿って集落とそれに続く畑を遺跡範囲とする。下ノ原A遺跡と連続する可能性もあるが、今回は確認できなかった。

採集遺物は縄文土器片及び黒曜石剥片で、縄文時代の遺跡である。

3 鶴園遺跡

大口市曾木鶴園及び竹下に所在する。

川内川左岸で諏訪橋のためと、集落を含む微高地に遺跡は立地する。背後の高台には鎌倉時代の曾木城跡(9-32)がある。

成川式土器片を採集したことから、古墳時代の遺跡である。

4 荒瀬遺跡

大口市曾木荒瀬に所在する。

鶴園遺跡から南へ上がった台地上に位置する。国道267号線を挟んで東は旧宮之城線まで、西は神社の境内及び周辺の畑を含む一帯に遺跡は広がる。

採集遺物は黒曜石剥片や成川式土器片及び土師器片で、縄文時代・古墳時代・奈良平安時代の遺跡である。

5 原遺跡

大口市曾木原に所在する。

針持川が川内川に合流する南東側の微高地に位置する。本遺跡は周知遺跡（9-96）であるが、今回その範囲を拡大した。川内川を挟んだ対岸には下ノ原A・B遺跡が、また、針持川を挟んだ東側には中世の富塚遺跡（周知遺跡9-95）がある。現況は、集落及びそれを取り囲む畑である。

縄文土器片・黒曜石片や成川式土器及び土師器片が採集され、縄文時代・古墳時代・奈良平安時代の遺跡である。

6 大脇山遺跡

大口市曾木上岡及び大脇山に所在する。

遺跡は川西の集落の北側から川内川までの範囲で、原遺跡の下流約200mに位置する。周知の大脇山遺跡（9-99）の範囲を拡大したものである。現況はすでに基盤整備の行われた畑及び水田地帯である。

7 矢橋川

大口市曾木矢橋川に所在する。

川内川右岸、曾木の滝から北西側の畑及び集落を含む範囲に遺跡は立地する。本遺跡の東側には並木式土器の標式遺跡である並木遺跡がある。

遺物は黒曜石剥片や成川式土器片が採集され、縄文時代及び古墳時代の遺跡である。

8 長迫遺跡

大口市曾木長迫に所在する。

矢橋川遺跡の北側に約100mに位置する。現況は標高約185m前後の平坦な畑である。一部削平によりシラスの覗く畑もある。

縄文土器片や黒曜石が採集され、縄文時代の遺跡である。

9 中牟田遺跡

大口市曾木中牟田及び木原に所在する。

宮入川の左岸で、標高が200m前後の南北に細長く伸びる畑に立地する。遺跡の北端部に接するよう中世の楕城（9-73）がある。

縄文土器片や黒曜石片・成川式土器片が採集され、縄文時代及び古墳時代の遺跡である。

10 高林遺跡

大口市羽月高林に所在する。

辺母木川の左岸にある標高約220m前後の台地にある。一帯は畑であるが、圃場整備がすでに終了しており一部シラスが覗く。

採集遺物は黒曜石剥片で、縄文時代の遺跡である。

11 囲畑遺跡

大口市羽月囲畑に所在する。

高林遺跡から谷を隔てた西側で圃場整備が終了した畑に位置する。遺物を採集できたのは台地上の西端部分だけで、遺跡範囲はさほど広がらないと思われる。

条痕が観察される縄文土器片・押型文土器や黒曜石剥片が採集された。縄文時代の遺跡である。

12 本城遺跡

大口市曾木本城に所在する。

針持川の右岸、曾木小学校の南側の独立丘陵に位置する。標高200m前後の平坦部には畑が広がる。字名や地形等からは中世山城が存在した可能性がある。

採集遺物は成川式土器片や土師器片であり、古墳時代・奈良平安時代の遺跡である。

13 今村遺跡

大口市針持今村及び青井に所在する。

土瀬戸集落が東で途切れるあたりで、東に蛇行しながら流れる針持川を南に望む台地の末端に位置する。遺跡の北西側には上ノ原遺跡（周知遺跡9-89）があるが、それとの繋がりについては把握できなかった。

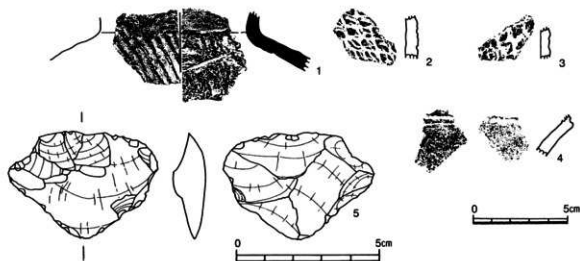
採集遺物は黒曜石剥片や土師器・須恵器片であることから、縄文時代・奈良平安時代の遺跡であると思われる。

14 鍋原遺跡

大口市針持鍋原に所在する。

周知の鍋原遺跡（9-92）の範囲を拡大したものである。針持川の左岸で、国道268号線と交差する付近の西側に広がる標高240m前後の台地上に位置し、現況は畑である。

縄文土器片・黒曜石片や白磁を採集したことから縄文時代・中世の遺跡である。



第1図 大口市採集遺物

1～宮田原遺跡(周知遺跡)

2・3～團畑遺跡

4～長迫遺跡

5～矢橋川遺跡

第5表 参考資料～昨年度発見した大口市の遺跡

遺跡名	所在地	地形	時代	遺物等
上 齊	大口市山野上齊	台 地	縄文・古墳	土器・黒曜石
里 畑	〃 〃 里畑	舌状台地	縄文・中世	土器・黒曜石・青磁・白磁
千里原	〃 平出水千里原	台 地	縄文・古墳・中世	土器・土師器・青磁・黒曜石
殿 後	〃 白木殿後	美 高地	縄文・中世	土器・黒曜石・青磁・染付
萩 谷	〃 羽月萩谷	舌状台地	縄文・古墳	土器・黒曜石
湯ノ谷	〃 〃 湯ノ谷	台地縁辺部	縄文・奈良～平安	土器・須恵器
池ノ山	〃 〃 池ノ谷	台 地	縄文	土器・黒曜石
上尾下シ	〃 宮人上尾下シ	台 地	縄文	土器・黒曜石
下尾下シ	〃 〃 下尾下シ	台 地	縄文	土器・黒曜石
木 崎 原	〃 牛尾木崎原	台 地	縄文	土器・黒曜石
大 儀 司	〃 大田大儀司	舌状台地	縄文	土器・黒曜石
軍神ノ上	〃 〃 軍神ノ上	台 地	縄文	土器・黒曜石
永 山	〃 小木原永山	台 地	縄文	土器・黒曜石
小 城	〃 牛尾小城	台 地	縄文・古墳	土器・黒曜石
スワノ前	〃 青木スワノ前	舌状台地	縄文	土器・黒曜石



下ノ原A遺跡



下ノ原B遺跡



鶴園遺跡



荒瀬遺跡

大口市新発見の遺跡(1)

図版 2



原遺跡



大脇山遺跡



矢橋川遺跡



長泊遺跡

大口市新発見の遺跡 (2)



中牟田遺跡



高林遺跡



團畑遺跡



本城遺跡

大口市新発見の遺跡 (3)

図版 4



今村遺跡



鍋原遺跡

大口市新発見の遺跡 (4)



1 下ノ原A遺跡



2 下ノ原B遺跡



3 鶴園遺跡



4 荒瀬遺跡



5 原遺跡



6 大脇山遺跡



7 矢橋川遺跡



8 長迫遺跡

大口市採集遺物(1)

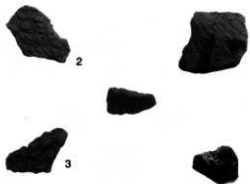
図版 6



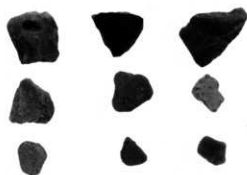
9 中牟田遺跡



10 高林遺跡



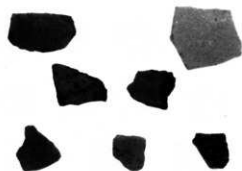
11 囲畑遺跡



12 本城遺跡



13 今村遺跡



14 鍋原遺跡

大口市採集遺物 (2)

第2節 菱刈町の調査

菱刈町は、県の北部の四方を山に囲まれた大口盆地に位置し、町内の最高地は622m、低地は171mの寒冷地である。東は始良郡吉松町・栗野町、西と北は大口市、南は薩摩郡薩摩町・始良郡栗野町に接している。町の中央部を川内川が蛇行して北西に流れ、それに芋田川・川間川・羽月川・市山川などの支流が流れ込み、河川の流域には平野が形成される。現在は、周辺市町村の合併などのより菱刈町1町で伊佐の1郡を形成している。大口盆地で生産される米は伊佐米として知られている。

菱刈町は県内でも最も早くから考古学研究が行われた地域で、そのため多くの遺跡が発見されている。昭和の初期から木村幹夫や寺師見国により精力的に調査・研究が行われた。町内には100か所を越す遺跡が台地や丘陵を中心に立地する。縄文時代の遺跡には、早期の手向山式土器を出土した白坂遺跡や「塞ノ神式土器」の標式遺跡である塞ノ神遺跡がある。また、松美堂遺跡は平成元年に発掘調査を行ったが、縄文時代前期から晩期までの遺物が出土した。平成2年に調査を実施した年ノ宮遺跡では、縄文時代後期の遺物が出土した。弥生時代の遺跡としては、住居跡や土壇墓等が発見された前畑遺跡がある。古墳時代の遺跡は、住居跡が発見された山下遺跡や塞ノ神地下式板石積石室・前目灰塚地下式横穴等がある。歴史時代の遺跡としては岡野古窯跡や人形や場形等の形代を埋納した祭祀遺跡の津栗野遺跡・岡野遺跡・大迫遺跡等がある。

本年度の調査で新たに発見及び範囲を拡大した30遺跡の概要は、次のとおりである。

1 芝立遺跡

菱刈町市山芝立に所在する。

菱刈町内の北部、標高約240mの東に開けた斜面に位置する。偏狭な畑で遺物を採集したが、周りには山林で、その広がりについては不明確である。

縄文土器片・黒曜石片を採集したことから縄文時代の遺跡である。

2 岩崎遺跡

菱刈町市山岩崎に所在する。

市山川の左岸に隣接し、川を眼下に見下ろす標高205m前後の独立丘陵である。現況は畑及び荒地である。

採集遺物は押型文を含む縄文土器片・石斧・黒曜石片で、縄文時代の遺跡である。

3 中園遺跡

菱刈町市山中園に所在する。

市山川に隣接し、水田地帯に飛び出た微高地に位置する。県の文化財に指定されている箱崎神社とその周辺の集落を含む。市町村別遺跡地名表には、箱崎神社下の水田に葉師遺跡(51-90)があるが、出土遺物・地形等の記載がないため詳細は不明である。本報告書では、とりあえず別遺跡として取り扱う。

土師器片を採集したことから奈良平安時代の遺跡である。

4 荻畔遺跡

菱刈町田中荻畔に所在する。

田中川の左岸で、北に開けた微高地に位置する。周知の遺跡で、今回の調査でその範囲を拡大した。本遺跡の一部は平成3年に基盤整備を調査起因とする発掘調査が行われ成川式土器や土師器が出土している。

遺跡内の畑では黒曜石や土師器・須恵器片が多く採集できることから、縄文時代・奈良平安時代の遺跡である。

5 小山尻遺跡

菱刈町田中小山尻に所在する。

荻畔遺跡と同じ立地条件で、下流側に隣接する。現況は畑で、遺物の散布が著しいのは耕作によるものと思われる。

成川式土器片や土師器片・須恵器片を採集したことから、古墳時代及び奈良平安時代の遺跡である。

6 柳町遺跡

菱刈町田中柳町に所在する。

田中川と重留川に挟まれた台地の西端部分に位置する。田中川の左岸でわずかに飛び出た微高地で、標高は190m前後である。周知の遺跡で今回の調査で、その範囲を拡大した。

市町村別遺跡地名表によると本遺跡の時代は、縄文時代（中期・後期・晩期）及び弥生時代である。今回、成川式土器片も採集したことから本遺跡は縄文時代から古墳時代にかけての遺跡である。

7 薬師原遺跡

菱刈町重留薬師原に所在する。

市山川と重留川に挟まれた台地の西端部に近く、台地が緩やかに傾斜しながら微高地となるあたりで、現況は集落を一部含む畑である。

採集遺物は土師器・須恵器片で、遺跡の時代は奈良平安時代と思われる。

8 湧脇之前遺跡

菱刈町花北湧脇之前に所在する。

重留川の右岸、薬師原遺跡と同じ微高地にある。同遺跡から国道を挟んで、さらに西へ約150mの距離を測る。

採集遺物は黒曜石剥片で、縄文時代の遺跡である。

9 周防原遺跡

菱刈町重留周防原に所在する。

重留川の左岸、県道菱刈横川線が南から重留川と交差するあたりの東側、標高200mの台地上があり、現況は畑である。台地上がる途中の集落内には「重留の寺跡」（周知遺跡51-64）がある。

縄文土器片と土師器片を採集したことから縄文時代及び奈良平安時代の遺跡である。

10 曹原遺跡

菱刈町下手曹原に所在する。

羽月川が大きく蛇行しながら川内川と合流する北側で、水田地帯に細く突き出た微高地の西端にある。現況は畑及び民家である。

黒曜石剥片・成川式土器・内黒土師器の遺物を採集したことから縄文時代・古墳時代・奈良平安時代の遺跡である。

11 榎木原遺跡

菱刈町前目榎木原に所在する。

川内川と重留川に挟まれ、北側から南側にかけて緩やかに傾斜する台地上にある。一帯は標高約230m前後の畑で、その中でも南端部に位置する。

採集遺物は黒曜石剥片・成川式土器で、縄文時代と古墳時代の遺跡である。

12 平原遺跡

菱刈町前目平原に所在する。

榎木原遺跡とは国道が通る谷部で隔てられているが、一連の台地上で同遺跡東側約200mの位置にある。眼下には、川内川流域の水田地帯が広がる。

採集した遺物は縄文土器片・土師器片で縄文時代及び奈良平安時代の遺跡である。

13 普春庵原遺跡

菱刈町前目普春庵原に所在する。

標高220m前後の台地上で、平原遺跡からは北へ約600mにある。菱刈苑の南東部で現況は畑である。

成川式土器や土師器を採集したことから古墳時代及び奈良平安時代の遺跡である。

14 先白坂遺跡

菱刈町前目先白坂に所在する。

菱刈町役場から国道268号線に通じる道路沿いにある。西から谷が入り込むが、その谷頭部分の畑で遺物を採集した。

成川式土器片及び土師器片を採集したことから古墳時代・奈良平安時代の遺跡である。

15 橋田遺跡

菱刈町徳辺橋田に所在する。

楠元川と新川に挟まれた台地の西端部にあたる畑に位置する。遺跡は標高が約185mの微高地で、道路を挟んで東西に広がる。市町村別遺跡地名表に記載されている橋口遺跡（周知遺跡51-20）を含んだ一帯であるが、付近の字名に「橋口」はないことから誤記載であると思われる。本報告書では橋口遺跡の範囲を拡大し橋田遺跡と扱う。

成川式土器片・土師器片を採集したことから古墳時代・奈良平安時代の遺跡である。

16 松木田遺跡

菱刈町徳辺松木田に所在する。

標高が約185m前後の微高地で目の前は迫田が広がる。橋田遺跡から約200m南側で、同遺跡と立地条件はほぼ同じである。

採集遺物は縄文土器・内黒土師器で、縄文時代及び奈良平安時代の遺跡である。

17 大廣井遺跡

菱刈町徳辺大廣井に所在する。

台地は南東側へ傾斜し、標高210m付近で新川を見下ろす平坦地となる。この平坦地に遺跡は立地する。現況は、民家を含む畑である。遺跡の西側には徳辺城（周知遺跡51-87）がある。

縄文土器片を採集したことから、縄文時代の遺跡である。

18 崎山A遺跡

菱刈町徳辺崎山に所在する。

楠元川と新川に挟まれた台地の北側斜面に位置する。現況は畑である。一部岩盤の露出している部分もある。

採集遺物は黒曜石剥片で、縄文時代の遺跡である。

19 崎山B遺跡

菱刈町徳辺崎山に所在する。

新拓公民館近くの畑で、南から谷が入り込む谷頭部分にあたる。畑によっては盤下げによる削平を受け、一部シラスが覗く。

押型文土器土器を採集したことから縄文時代の遺跡である。

20 崎山C遺跡

菱刈町徳辺崎山に所在する。

標高280m前後で馬の背状に開けた台地の北西側斜面にあり、現況は畑である。崎山D遺跡とは直線距離にして約200mである。

採集遺物は縄文土器・石鏃・黒曜石剥片で、縄文時代の遺跡である。

21 崎山D遺跡

菱刈町徳辺崎山に所在する。

新川を眼下に望む台地に位置する。標高は295mから265mにわたり、北側及び北西側の斜面と東から南に開けた平坦面が遺跡範囲に含まれる。

黒曜石剥片を採集したことから縄文時代の遺跡である。

22 新川遺跡

菱刈町徳辺新川に所在する。

崎山D遺跡とは新川を挟んだ対岸にあたる。遺物は多少採集できたが、その広がり是不明確なため

「ドット」で遺跡所在地は示した。

採集した遺物は縄文土器片・黒曜石剥片で、縄文時代の遺跡である。

23 堂田遺跡

菱刈町徳辺堂田に所在する。

山田川の左岸の台地，全体的に北東側へ開けた緩やかな傾斜地で，国道268号線の東側位置する。

現況は畑及び田である。

採集遺物は縄文土器片や黒曜石片で，縄文時代の遺跡である。

24 狩迫遺跡

菱刈町徳辺狩迫に所在する。

堂田遺跡から南へ150m，眼下に山田川流域沿いの水田を望む標高約200m前後の緩やかな斜面に位置する。遺跡の東側を国道268号線が走る。

縄文土器片や黒曜石製の石鏃を採集したことから縄文時代の遺跡である。

25 早風下遺跡

菱刈町荒田早風下に所在する。

川内川左岸，下荒田公民館早風神社前の水田で遺物を採集した。一帯はすでに基盤整備が行われている。広がりには旧地形を復元できないため不明で，その所在は「ドット」で示した。

内黒の土師器片を採集したことから奈良平安時代の遺跡である。

26 川原田遺跡

菱刈町川南川原田に所在する。

本城の南方神社を中心とし，川内川流域の水田地帯にわずかに突き出た微高地に位置する。遺物は神社の境内で採集した。

成川式土器片や糸切り底の土師器片を採集したことから古墳時代・奈良平安時代の遺跡である。

27 小椎ケ尾遺跡

菱刈町南浦小椎ケ尾に所在する。

川内川と芋田川に挟まれた標高約210m前後で北へ全体的に傾斜する台地上に位置する。遺跡を含む一帯は東西に畑が広がるが，その東部分に立地する。本遺跡の南側には隣接して周知の柿内遺跡(51-101)がある。

縄文土器片や成川式土器片及び土師器片を採集したことから，縄文時代・古墳時代・奈良平安時代の遺跡である。

28 七代遺跡

菱刈町南浦七代に所在する。

小椎ケ尾遺跡と同じ台地上で，楠原電話中継所を含む一帯に遺跡は立地する。現況は民家及び畑である。

縄文土器片・黒曜石剥片や内黒の土師器片を採集したことから、縄文時代及び古墳時代の遺跡である。

29 日之丸遺跡

菱刈町南浦日之丸に所在する。

七代遺跡とは一連の台地上で、浅い谷を隔てた南東側の広い範囲に及ぶ。標高が250mから230mの緩やかな斜面の畑地帯に立地する。周知の日之丸遺跡（51-11）の範囲を拡大した。

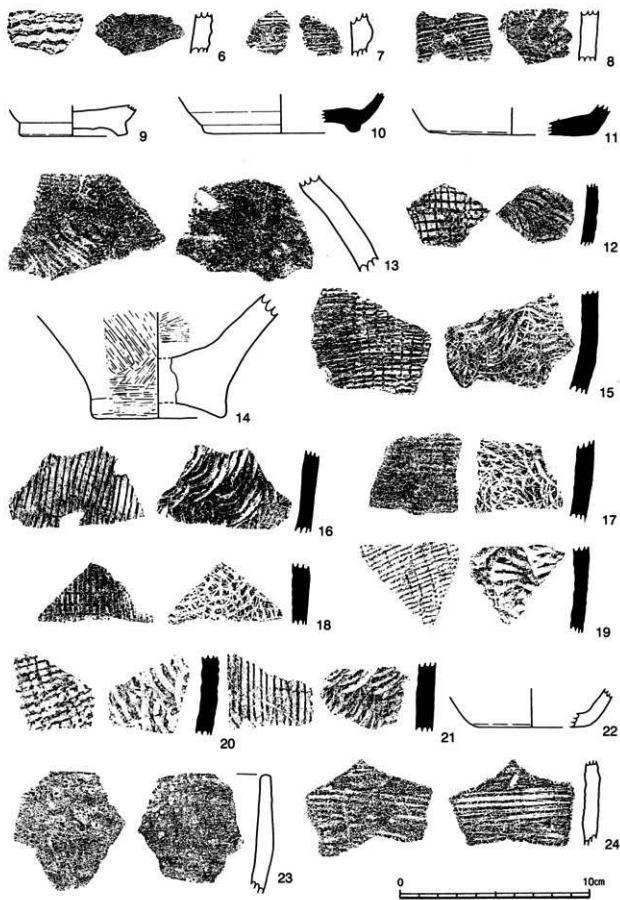
縄文土器片や成川式土器片を採集したことから、縄文時代及び古墳時代の遺跡である。

30 楠原遺跡

菱刈町南浦楠原に所在する。

日之丸遺跡と同じ台地上で、南側約200mに位置する。遺跡の東側・南側に谷が入る台地の端部にあたる。遺跡の所在する一帯の畑の中で北東部で遺物を採集した。楠原の集落の南側には周知の楠原遺跡（51-16）があることから本遺跡を楠原B遺跡とした。

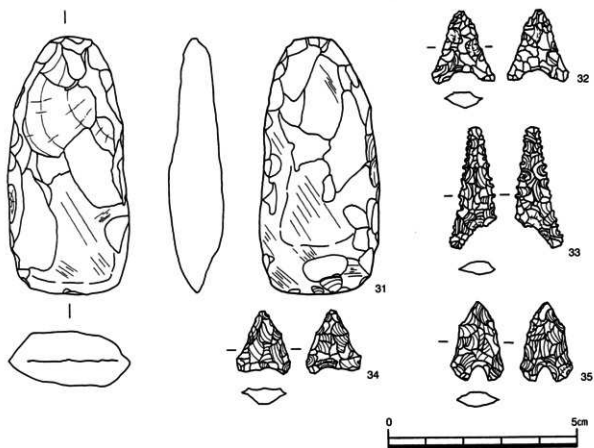
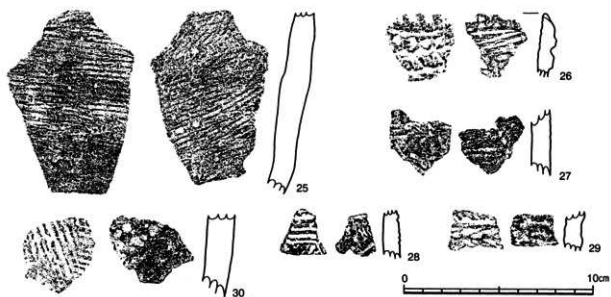
採集遺物は縄文土器片で、縄文時代の遺跡である。



第2圖 薮刈町採集遺物(1)

6~岩崎遺跡 7・8・9・10・11・12~萩群遺跡

13・14・15・16・17・18・19・20~小山尻遺跡 22~柳町遺跡 23・24~崎山C遺跡



第3圖 菱刈町採集遺物(2)

25・26・33～崎山C遺跡 27・28・29・34～崎山D遺跡 30～日之丸遺跡
31～岩崎遺跡 32～崎山A遺跡 35～狩泊遺跡



芝立遺跡



岩崎遺跡



中園遺跡



荻畔遺跡

菱刈町新発見の遺跡 (1)

図版 8



小山尻遺跡



柳町遺跡



菜師原遺跡



淵脇之前遺跡

菱刈町新発見の遺跡 (2)



周防原遺跡



曹原遺跡



榎木原遺跡



平原遺跡

菱刈町新発見の遺跡 (3)

図版 10



昔春庵原遺跡



先白板遺跡



橋田遺跡



松木田遺跡

菱刈町新発見の遺跡 (4)



大廣井遺跡



崎山A遺跡



崎山B遺跡



崎山C遺跡

菱刈町新発見の遺跡 (5)

図版 12



崎山D遺跡



新川遺跡



堂田遺跡



狩泊遺跡

菱刈町新発見の遺跡(6)



早風下遺跡



川原田遺跡



小椎ヶ尾遺跡



七代遺跡

菱刈町新発見の遺跡 (7)

図版 14



日之丸遺跡



楠原B遺跡

菱刈町新発見の遺跡 (8)



1 芝立遺跡



2 岩崎遺跡



3 中園遺跡



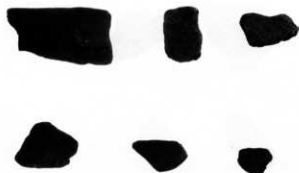
4 萩野遺跡



5 小山尻遺跡



6 柳町遺跡



7 重留西遺跡



8 測脇之前遺跡

菱刈町採集遺物 (1)



9 周防原遺跡



10 曹原遺跡



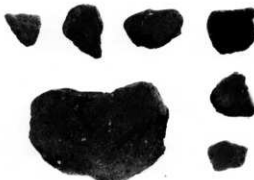
11 楠原遺跡



12 平原遺跡



13 普春庵原遺跡



14 先白板遺跡

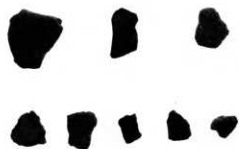


15 橋田遺跡



16 松木田遺跡

菱刈町採集遺物 (2)



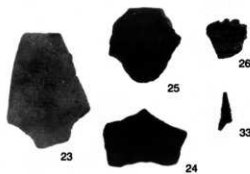
17 大廣井遺跡



上~18 崎山A遺跡 下~24 狩迫遺跡



19 崎山B遺跡



20 崎山C遺跡



21 崎山D遺跡



22 新川遺跡



23 堂田遺跡



25 早風下遺跡

菱刈町採集遺物 (3)

図版 18



26 川原田遺跡



27 小椎ヶ尾遺跡



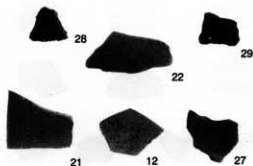
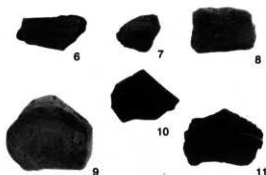
28 七代遺跡



29 日之丸遺跡



30 桶原B遺跡



6 岩崎遺跡
7~12 荻畔遺跡
21 小山尻遺跡
22 柳町遺跡
27~29・34 崎山D遺跡
31 岩崎遺跡
32 崎山A遺跡
35 狩泊遺跡

菱刈町採集遺物 (4)

鹿児島県埋蔵文化財調査報告書(74)

北薩・伊佐地区埋蔵文化財調査報告書 (Ⅷ)

発行日 平成 11 年 3 月 31 日
発行者 鹿児島県教育委員会
☎ 890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
印刷所 アルプス印刷株式会社
☎ 891-0102 鹿児島市星ヶ峯 2 丁目 18 番 12 号